

ユーモアスピーチ船橋

2024 (R6) 年 3 月 14 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

206 回船橋ユーモアスピーチ

2024 年 3 月 14 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「お互い様」「ストレス解消法」
「自由題」「失敗談」

ロングスピーチ

松永 成三郎さん：「太宰治と船橋」

石渡 巧さん：「古典落語」

2 月 8 日の参加者：飯野、中久木、稲葉、岩瀬、川田、
菊池、後藤、長井、野口、松永、山崎、山田、小林、植
野、長嶋 15 名

主催：NPOシニア大楽
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部
支部長：長嶋秀治 043-261-5832
発行者：長嶋秀治
編集&事務局：町田雅和
267-0066 千葉市緑区あすみが丘
5-26-7 T/F 043-294-2911
mac555new@ybb.ne.jp
参加費 500 円 (入会金 1000 円)
見学科 1 回無料
開催日と場所 (原則)
毎月第②木曜日 15:15~17:30
会場 船橋中央公民館 第 8 集会室
5 階

前回のロングスピーチ (2 月 8 日)

「笑いあれこれ」

稲葉 勝弘さま

笑いについて個人的な経験で話したいと思いま
す。

私は母親の遺伝からかばか笑いの傾向があり響
をかっており二人で出た法事でも雰囲気壊して
いました。

今、所属している川柳サークルでもうるさくて
隣の部屋はいつも空き状態です。

最大の思い出は中学の授業で先生のちょっとした
ジョークに私一人が大笑いしたのに反応して教室
全体が笑いの渦で収拾がつかなかったことです。

笑いは笑いを呼ぶを痛感しました。

学術的には笑いは楽しい、うれしい、おかしいを表す感情表現で laugh と smile に
大別されますが私は専ら前者で「はひふへほ」の「は」です。

笑いには嘲笑、照れ笑い、作り笑い等もありますが出来れば豪快に大笑いしたいも
のです。

身近なところではこのサークルも皆さんの大笑いで盛り上げて頂きたく今後ともご
協力お願いいたします!!



前回のロングスピーチ (2月8日)

「私の趣味 特に考古学」

山田 正國さま

1 考古学との出会い

高校2年の時に先輩に日本武尊の古墳を見に行かないかと誘われた。それが最初。

2 本論

考古学と初めて文字に記載したのは、かの有名なシーボルトの孫ハインリヒ シーボルトが『考古説略』の中で用いられたのが明治10年が緒言である。

過去の事象を知ることによって、その当時の人々の過去、生活の営み、文化、価値観、進化、栄枯盛衰、発生絶滅などを考える学問である。そして現代及び未来を考える学問。

3 考古学の方法

1) データの収集 (発掘)

2) 年代の同定

炭素14法

年輪測定法

3) 並びに文献 気象データとの組み合わせ法

4 炭素14法

空気中には炭酸ガス ^{12}C が含まれているが極僅かではあるが含まれているが、ほぼ一定の割合で放射性同位元素の ^{14}C が含まれており、この同位元素は5730年で放射能は半減する。そこで発掘された遺物のうち植物【木、種子】であれば伐採または収穫とき木や種子は成長を止めるから、それ以後は前記同位元素は前記の半減期で減少するはずである。人間や動物の骨も死後同様に ^{14}C は減少する。従って遺物の ^{14}C の量を測定すれば、これらのものが時代が分かる。誤差は約5000年前でおおよそ70年位。測定に必要な資料の量は1mg程度、分析に要する時間は30秒~1分程度。

5 年輪法

樹木の年輪を観察し近年伐採した700年位の樹木に年輪を観察し、過去の遺跡木材と突き合わせ気候変動により年輪の狭い、広いを突き合わせ順次古い遺跡の材木の年輪をつなぎ合わせた標準年輪尺を作成する。すでに標準尺は存在するらしい。従ってこれと比較し、発掘物と比較して発掘物の年代を同定する。ただし、材木の場合伐採年代は分かるだけで、建造年代までは分からない。

6 歴史文書による年代特定。

前記歴史文書の紙そのものから前記の ^{14}C 法や暦などを参考に年代を同定する。記述内に年代表示のあるものは、年表などから現代歴に換算して同定する。

7 上記の組み合わせ 其の他 地球物理学、気象学、天文学などをくみ合わせる。

8 遺跡の発掘方法

予備発掘 人工衛星からの観測

振動測定

地中電磁波測定

宇宙線測定

本発掘

殆ど手彫り



3 分間スピーチダイジェスト

テーマ 「冬の楽しみ」「苦手」

中久木 一乗：「みかんを楽しもう」

小学 6 年生の音楽の時間、私なりに一生懸命に歌い出したら、先生に「中久木さん！ふざけないで！」と大声で叱られ、以後 75 年間 歌を忘れたガナリ屋は歌わないのが世の為と、私は声出して歌を唄ったことはない。

スピーチでも楽しい話が良いと知ったが、私にはユーモアに満ちた楽しい話にはできない。簡単でやさしい手品を求め、なんとか演じられるマジックを覚え、小学校の放課後や高齢者施設を回って見てもらった。

例えば 4 面のマジックランプで、こんなお話をします。①：自宅の家にはミカン【未完】の木がある。④：1 個見つかり、その陰には 4 個のミカンが、③：隣の陰には 3 個が、⑥：ところにより 6 個あります。…①一つ一つ 味わいが違い、楽しみは無限大です。◎皆さん！未完（ミカン）を楽しみましょう。

川田 茂雄：「冬の楽しみ」

私の冬の楽しみは、吉野家の冬メニュー『牛すき焼き鍋』です。幸い、ここに来る途中、京成船橋駅の出口に吉野家があります。今日はここで『牛すき焼き鍋』を食べてから、今日のスピーチのまとめをやり、一気にダイジェスト版まで終える事ができました。私のダイジェスト版は、ギリギリの提出で、町田さんにご迷惑をお掛けしています。今回、スピーチの翌日にダイジェスト版を提出できそうですが、これは、吉野家の冬メニュー『牛すき焼き鍋』のお陰です。

松永 成三郎：「冬の楽しみ」

冬の楽しみというと、学生時代から社会人の中年にかけてはやはり winter sport のスキーでした。一時期はすっかりはまり、赤倉、志賀高原、湯沢等々に出かけていました。高年以降はさすがに体がついていけなくなり、冬の楽しみはもっぱら温泉となりました。熱海がメインで、那須、草津、下呂、白浜、別府その他もろもろ行っていますが、まだ三名泉の一つである有馬温泉には足を運んでいないのでこれからの楽しみです。

植野 晏生：「冬の楽しみ」

私にとって冬の楽しみは、「雪」です。暖かい徳島生れの私にとって雪が降るのは驚きでした。年の離れた親父が竹でスキーを作ってくれました。赴任地は秋田で、雪深く愛車のスバル 1100 は前輪で雪を掻いて登るのでスキー場はお手の物です。最初の車庫は雪に潰されましたが、毎日の出勤は雪掻きから始まります。最初の子は女房がスキー場で転びまくりましたが幸い流産もせず、現在私のスマホの教師です。

山田 正國：「名前」

私の名前は『正國』は私が生まれる前から既に決まっていた。5 人兄弟の末っ子である。少なくとも 2 番目の兄が命名された時には決まっていたと推測される。つまり男子 5 人には上から順に忠孝文武國と続くからである。大人になってからは自分の名前それほど抵抗はないが小さい頃は、字画の多い國は答案用紙の指名記入欄に納らず嫌だったが・・・。

長嶋 秀治：「冬の楽しみ」

5日首都圏に雪が降りました。翌日は晴れ。こんな日に近郊の雪山に登るのは冬の楽しみの一つです。もう20年近く前の降雪の翌日に登った高尾山は駅前からアイゼンを装着して登りました。うきうきして登った気持ちが蘇ってきます。

冬の陽射しを浴びて登った矢倉岳(870m)も印象深い山でした。頂上に着いた瞬間視界が開け富士山が目の前、風も無く太陽の光を浴びて写真にも写っていますが、皆小躍りしています。山上の楽園です。こういう瞬間にまたあいたいものです。



予告：4月 「船橋ユーモアスピーチの会」

4月11日(木) 15時15分～ 船橋中央公民館 4階 第2集会室

ロングスピーチ

小林寿美さん：「加齢に負けないフレイル予防」

山中 昇さん：「室町は今日もハードボイルドー日本中世のアナーキーな世界」

スピーチテーマ 「数字」、「睡眠」、「自由題」、「失敗談」